

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年10月13日 (2016.10.13)

【公表番号】特表2015-515497(P2015-515497A)

【公表日】平成27年5月28日 (2015.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2015-035

【出願番号】特願2015-509206(P2015-509206)

【国際特許分類】

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 16/00

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月26日 (2016.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 2 】

異なる特性（例えば改良された親和性、結合力および薬物動態）および完全ヒト抗体、ヒトおよび非ヒト因子から成るキメラ抗体、F a b 抗体、および他の抗体構造を含む構造をもつ抗体は、クローニング、ファージ提示法、トランスジェニックマウスおよび突然変異誘発のような分子生物学技術を使用している研究室において構築されてきた。治療用抗体改良の目的は宿主抗体反応を克服すること、治療用抗体の半減期を延長することを含み、改良された抗体には継続的な必要性がある。

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある（国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む）。

（先行技術文献）

（特許文献）

（特許文献 1） 米国特許出願公開第 2 0 0 5 / 0 0 3 7 0 0 0 号明細書

（特許文献 2） 米国特許出願公開第 2 0 1 1 / 0 0 8 1 3 4 7 号明細書

（特許文献 3） 米国特許第 7 , 7 9 0 , 6 5 5 号明細書

（特許文献 4） 米国特許出願公開第 2 0 0 9 / 0 0 4 1 7 7 0 号明細書

（特許文献 5） 国際公開第 2 0 0 7 / 0 2 1 8 4 1 号

- (特許文献6) 米国特許出願公開第2005/0014934号明細書
(特許文献7) 米国特許出願公開第2012/0003210号明細書
(特許文献8) 米国特許出願公開第2010/0104564号明細書
(特許文献9) 中国特許出願公開第101189028号明細書

— (非特許文献)

(非特許文献1) MOORE, GREGORY L. et al., Engineered Fc variant antibodies with enhanced ability to recruit complement and mediate effector functions, Landes Bioscience, March - April 2010, Vol. 2, No. 2, pp. 181 - 189

(非特許文献2) LAZAR, GREG A. et al., Engineered antibody Fc variants with enhanced effector function PNAS, 14 March 2006, Vol. 103, No. 11, pp. 4005 - 4010

(非特許文献3) Chinese Office Action; Mailed 2016-07-11 for CN Application No. CN201380022401.0 along with an English abstract.